

# The 23rd NORTH Internet Symposium 2017



【テーマ】

## 地域の社会福祉・医療・介護の近未来像 — 情報通信技術(ICT)の活用により地域医療はこうなる !!! —

近年、インターネット技術は劇的な進化を遂げ、IoT(Internet of Things: もののインターネット)に代表されますように、社会生活の隅々に浸透しつつあります。

こうした現状を受け全国各地で地域住民を支援すべく情報通信技術が広範に活用されており、本道内にて、各地域の特性を踏まえた地域医療・介護・福祉を包括する連携環境が形成されつつあります。

一方、一昨年(2015年)の医療法改正により、本年4月より「[地域医療連携推進法人制度](#)」が施行されますが、これによりもたらされる効果・留意点等に焦点を当て、本シンポジウムでは地域包括ケア、福祉・介護など様々な視点から、同制度が地域社会・住民に与える影響・課題・期待効果などに関し、情報通信技術の援用を基本に、医療・介護・看護分野に識見を有する多彩な識者を道内外よりお招きし、基調講演・特別講演、パネル・ディスカッションなどを企画致しております。

【日時・会場】

日時：平成29年3月2日(木)～3日(金)／9:30～18:00

会場：国立大学法人 北海道大学 学術交流会館 第1会議室

<http://www.hokudai.ac.jp/bureau/map/map4.htm>

[http://www.hokudai.ac.jp/veteri/coe/event/map\\_gakujyutu.html](http://www.hokudai.ac.jp/veteri/coe/event/map_gakujyutu.html)

※札幌市北区北8条西5丁目 [JR札幌駅より徒歩7分]



北海道大学 学術交流会館正面(北海道大学HPより転載)

【主催】

特定非営利活動法人 北海道地域ネットワーク協議会【NORTH】

【共催】

独立行政法人 日本学術振興会 産学協力研究会インターネット技術第163委員会【ITRC】

ユニバーサル・アクセス技術普及・実践分科会[UAT]／医療情報ネットワーク連携分科会[MINX]

国立大学法人 北海道大学 情報基盤センター

【後援】

経済産業省 北海道経済産業局

総務省 北海道総合通信局 [申請中]

国土交通省 北海道開発局

北海道

北海道経済連合会

北海道公立大学法人 札幌医科大学



2016年シンポジウム・パネルディスカッション

## 【対象分野について】

以下、情報通信技術(ICT)の利活用による医療、教育・研究開発、地域サービス、地域社会・生活空間創成、これらに関連するサービス事業、および広範・多彩な分野よりのご発表・ご報告をお願いしております。

- \* 情報通信技術(ICT)一般
- \* インターネット技術一般、ネットワーク構築・運用・管理手法。
- \* 最新技術・先端技術についてのレビュー、実運用やそのノウハウ。
- \* クラウド・コンピューティングやそのサービス。
- \* 医療／ヘルスケア・介護・福祉分野への応用。
- \* 基礎・臨床医学、地域医療・遠隔診断等
- \* 医療情報学、介護情報学
- \* デジタルコンテンツ流通基盤の構築および利活用。
- \* 生体センシング技術・センサネットワークやその応用。
- \* 教育、防災・減災、環境保全へのネットワーク技術の応用展開。
- \* セキュリティ
- \* もののインターネット (Internet of Things: IoT)
- \* 人工知能 (Artificial Intelligence: AI)とオントロジー(Ontology)
- \* SDN (Software-Defined Network: SDN)
- \* ビッグ・データ (Big Data: BD), データウェアハウス (Data Warehouse: DWH)
- \* 統計解析、データ分析、Big Data等
- \* 社会システム設計、構築
- \* 知的財産、情報倫理
- \* 学術情報
- \* ICTと経済。
- \* その他社会一般



## 【発表について】

NORTH 会員をはじめ、学術関係者、官公庁・自治体及び公共団体、医療関係者、各種団体、北海道経済連合会参加企業、その他広く一般よりご登壇頂きます。

## 【参加について】

本シンポジウムは、一般公開のシンポジウムであり、自由なご参加が可能です。

[参加費：無料]

※ご登壇・ご発表につきましては、別途お申込が必要です。

## 【論文集の発刊】

本会では、毎年シンポジウムの開催に併せ、論文・総説・発表資料集「Proceedings of NORTH internet Symposium ISSN: 1345-0247」(査読付論文誌)を発刊致しており、ご登壇発表の全発表関連資料が採録・掲載されます。【別途、ご希望の方に頒布致します】

## 【企業展示について】

本シンポジウムでは、本会会員企業による展示を『Hyper Solutions of NORTH 2017』として学術交流会館第3会議室を会場に、3月2・3日の両日にわたり併催します。

NORTH 会員による先進・先端技術を皆様のご高覧に供し、本会の目指す「本道における情報通信技術(ICT)リテラシー向上」の一助としております。

また、ホスピタリティ・テーブルにて。お飲み物をご用意しており、お打合せ・休憩等にご活用頂けます。

出展企業：       フォーティネットジャパン株式会社  
                  アラクサラネットワークス株式会社  
                  ディーリンクジャパン株式会社



展示会場[2016年]



[photo by ALAXALA Networks Corp.]

## 【情報交換会について】

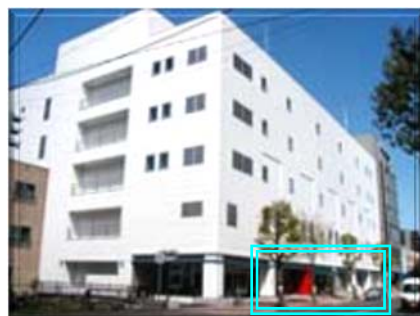
例年シンポジウム初日の夕刻、登壇者、参加者、本会会員の皆さまが一堂に会し、情報交換、協業機会の創出などの場として開催されます。

会 場: 『エスト・エスト・エスト』(ホワイトキューブ札幌 1F・写真枠内)

参加費: ¥4,000(税込)/1名 【3月2日(木) 18:10開会】

※事前申込をお願い致します。[申込先: shimmi@sapmed.ac.jp]

※参加費につきましては、シンポジウム会場受付にて、お預かり致します。



《 ホワイトキューブ札幌 》

札幌市北区北9条西2丁目4-1

SAPPORO バリアフリータウンマップより転載

【プログラム】

プログラム・セッション構成 第1日：3月2日(木)

《 ICT 医療・介護・福祉・地域連携 Track 》

- 9:20～ 開場
- 10:00～10:05 オープニング  
< 10:20～展示室開放【Hyper Solutions of NORTH 2017】第3会議室 >
- 10:05～10:20 Hyper Solutions of NORTH ご紹介  
司会：新見隆彦，札幌医科大学  
1) フォーティネットジャパン(株)  
2) アラクサラネットワークス(株)  
3) ディーリンクジャパン(株)
- 10:20～11:20 1-G-1 一般口演セッション[3 席] ■ 社会福祉・医療・介護分野 ■  
座長：新見 隆彦，札幌医科大学  
1-G-1-1 「野外彫刻の清掃と心のリハビリをつなぐ市民文化運動」  
橋本 信夫，札幌彫刻の森友の会，北海道大学 名誉教授  
1-G-1-2 「臨床データベースの標準化とガイドラインの作成」  
水島 洋，国立保健医療科学院 上席主任研究官，IT ヘルスケア学会 代表理事  
1-G-1-3 「ICT を利用した医療・介護連携の基盤整備」  
山田 基，砂川市立病院 地域連携室 地域医療連携課長
- 11:20～12:20 — 休憩 —
- 12:20～13:00 1-S-1 シンポジウム基調講演  
座長：辰巳 治之，札幌医科大学  
「地域包括ケアシステムと医療・介護の課題と展望」  
丸山淳士，医療法人礼風会 五輪橋マタニティクリニック 名誉理事長／医師
- 13:00～13:50 1-S-2-1 パネル・ディスカッション基調講演  
座長：辰巳 治之，札幌医科大学  
「地域医療を支えるための ICT 活用方法～医療・介護の効率的な情報連携を目指して～」  
高橋肇，社会医療法人 高橋病院 理事長・院長／医師，  
特定非営利活動法人 道南地域医療連携協議会[道南 Medika] 理事
- 13:50～14:00 — 次席準備・小憩 —
- 14:00～16:00 1-S-2-2 パネル・ディスカッション  
『地域医療連携と地域包括ケアシステムの現状と将来展望』  
モデレータ： 辰巳 治之 [札幌医科大学・教授／NORTH 理事・会長]  
《 パネリスト発表・講演 》
- 14:05～14:25 「医療介護連携の流れと今後の展望」  
石井 安彦 [北海道保健福祉部 医療参事／医師]  
高橋 肇 [高橋病院・理事長／院長]  
丸山 淳士 [五輪橋マタニティクリニック・名誉理事長／医師]  
水島 洋 [国立保健医療科学院・上席主任研究官]
- 14:25～14:30
- 14:30～14:35
- 14:35～14:40
- 14:40～15:00 「医療・介護・生活支援一体型ソフト「ぱるな」を用いた地域包括ケアシステム構築の実際」  
滝沢 礼子 [高橋病院・理事／法人情報システム室 室長]
- 15:00～15:15 「地域包括ケアシステム構築における砂川市立病院の役割」  
山田 基 [砂川市立病院 地域連携室 地域医療連携課長]  
栗原 智之 [加須市医療診断センター・主任、放射線技師長]  
栗林 秀樹 [くりばやし医院・院長／十勝医師会・会長: ビデオ講演]
- 15:15～15:25
- 15:25～15:45
- 15:45～16:00 《 討論 》

16:00～16:20

— 小憩 —

16:20～17:20

1-G-2 一般口演セッション[3席]

■ 情報通信・応用研究・開発技術分野① ■

座長：新見 隆彦，札幌医科大学

1-G-2-1 「学術論文自動収集について」

榊原 淳，(株)メディアフュージョン 代表取締役

1-G-2-2 「昨今のセキュリティ脅威の実状と求められる対策」

田畑 善基，東日本電信電話(株) 北海道法人営業部長／NORTH 理事・副会長

1-G-2-3 「No Maps 活動のご紹介 No Maps 2016 実施概要」

廣瀬 岳史，No Maps 実行委員会 事務局

17:20～17:40

1-S-3 帰朝報告

司会：新見 隆彦，札幌医科大学

「合衆国 国立衛生研究所(National Institutes of Health)における

1年間の在外研究を終えて」

辰巳 治之，札幌医科大学 教授／NORTH 理事・会長

17:40～17:45

情報交換会ご案内

NORTH シンポジウム実行委員会

□■□ memo □■□

プログラム・セッション構成 第2日：3月3日(金)

《 情報通信技術・先端技術動向 Track 》

- 9:40～ 開場  
展示【Hyper Solutions of NORTH 2017】第3会議室
- 9:55～10:00 開会
- 10:00～11:40 2-G-3 一般口演セッション[5席] ■ 情報通信・応用研究・開発技術分野② ■  
座長：魚住 超, NORTH 理事・副会長／工学博士  
2-G-3-1 「離島を支える遠隔診断技術 一妊婦健康診査の一例一」  
新見 隆彦, 札幌医科大学 大学院医学研究科 生体情報形態学  
2-G-3-2 「V-CUBE ミーティング 5 を使用したエコー映像リアルタイム伝送について」  
大穂 照久, (株)ブイキューブ  
2-G-3-3 「これからの働き方 学び方が変わる時代に  
適応するために必要なものは? 「新しい e-Learning のご紹介」」  
横林 英勲, (株)D2C エデュケーションビジネス部 シニアマネージャ  
2-G-3-4 「医療とXML その1」  
魚住 超, NORTH 理事・副会長／工学博士  
2-G-3-5 「“Health Information Watcher” によるネットパトロールの取り組み」  
三谷 博明, (特非)日本インターネット医療協議会 理事／事務局長 [遠隔口演]
- 11:40～13:00 ー 休憩 ー
- 13:00～13:10 来賓挨拶
- 13:10～14:00 2-S-4 国際電気通信連合(ITU)受賞記念特別講演  
「ITU TELECOM WORLD 2016 受賞報告」  
座長：辰巳 治之, 札幌医科大学  
大石 憲且, (株)ネクステック 代表取締役 社長  
高橋 健人, (株)ネクステック 製品事業部
- 14:00～15:00 2-G-4 一般口演セッション[3席] ■ セキュリティ・NW 先進技術分野 ■  
座長：新見 隆彦, 札幌医科大学  
2-G-4-1 「IoT 機器からの DDoS 攻撃-有害トラフィック攻撃の実態と対策-」  
朴 明浩, ハンドリームネット(株) 代表取締役  
2-G-4-2 「サイバー攻撃自動防御ソリューション」  
小林 春樹, アラクサラネットワークス(株) ネットワークシステム部 主任技師  
2-G-4-3 「ランサムウェアから医療を守る!  
～医療を止めないための無線 LAN セキュリティとメールセキュリティとは～」  
井上 祥二, フォーティネットジャパン(株) エンタープライズパートナー事業部  
リジョナルセールスマネージャ
- 15:00～15:20 ー 小憩 ー
- 15:20～16:10 2-S-5 会長講演  
座長：魚住 超, NORTH 理事・副会長／工学博士  
『『情報薬』の理解を深める： Brain Wash(洗脳)か Brain Stain(染脳)か?!』  
辰巳 治之, 札幌医科大学 教授, NORTH 理事・会長
- 16:10～16:20 クロージング

※本会 HP にも掲載致しております：<http://www.north.ad.jp/>

## 第23回 NORTH インターネット・シンポジウム 2017

### — シンポジウム基調講演 講師略歴 —



丸山淳士（まるやま・じゅんじ）

五輪橋マタニティクリニック 名誉理事長／医学博士

☆「医師1人でも、どんな疾患にも対応できる」からという動機で産科医を志す。

生年月日： 昭和13年(1938年)3月26日

出生地： 北海道紋別郡鴻之舞

所属学会等： 日本産婦人科学会専門医  
北海道産婦人科学会監事  
北海道音楽療法協会会長  
北海道学生柔道連盟副会長

勤務先： 医療法人礼風会 五輪橋マタニティクリニック

職位・職名： 理事、医師

住所： 〒005-0802 札幌市南区川沿2条1丁目2-55

電話： TEL: (011)571-3110 / FAX: (011)571-1989

e-Mail: maruyama.j@gorin.or.jp / <http://www.gorinbashi.com/>

略歴： 1964年 札幌医科大学医学部卒業。

門別国保病院、斗南病院等を歴任。

1980年 五輪橋産科婦人科小児科開業

1990年 法人化

2005年 名誉理事長

2016年 医療法人礼風会 五輪橋マタニティクリニック開業

現在に至る

◆ラジオ番組 『ドクター丸山の病気なんてぶっとばせ!』

(HBCラジオ『朝刊さくらい』毎週水曜日 6:30~9:00 放送)

◆スポーツ、写真、音楽と幅広い趣味でも活躍。健康の普及の為にユニークな発想で知られる。

HBCラジオで提唱した「脱パンツ健康法」は全国的に注目を集めた。

◆著書多数。



## 第23回 NORTH インターネット・シンポジウム 2017

— パネル・ディスカッション基調講演 講師略歴 —



高橋 肇（たかはし はじめ）

社会医療法人 高橋病院 理事長 高橋 肇

### 【略歴】

昭和59年 北海道大学医学部卒業、同大学附属病院循環器内科入局  
平成 元年 札幌厚生病院循環器内科医長等歴任  
平成 8年 高橋病院院長  
平成13年 同病院ならびに社会福祉法人函館元町会理事長  
現在に至る

### 【役職】

全日本病院協会常任理事 「広報委員会」委員長  
「医療の質向上委員会」 「あり方委員会」 委員  
日本病院会 「中小病院委員会」 「社会保険診療報酬委員会」 委員 北海道支部理事  
北海道病院協会常務理事 「研修企画部会部長」 「医療政策委員会」 委員  
全国老人保健施設協会常務理事 「ケアマネジメント部会」 委員  
北海道老人保健施設協議会副会長  
北海道介護予防地域包括ケア市町村支援委員会「介護予防部会」 委員  
北海道病院厚生年金基金理事  
北海道医療健康保険組合理事  
南渡島圏地域医療構想調整会議委員（地域医療構想部会慢性期分会座長）  
特定非営利活動法人道南地域医療連携協議会（道南MedIka）理事  
道南脳卒中地域連携協議会副代表



## 第23回 NORTH インターネット・シンポジウム 2017

### ー パネル・ディスカッション パネリスト略歴 ー

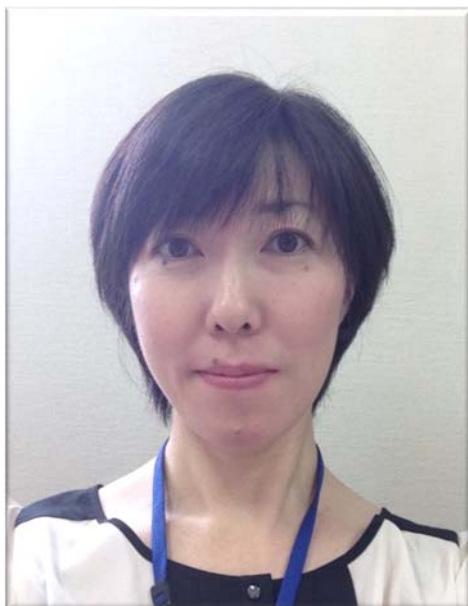


石井 安彦(いしい やすひこ)  
北海道保健福祉部 地域医療推進局 地域医療課  
医療参事/医師

略歴： 平成 12 年 3 月 札幌医科大学医学部 卒業  
同年 4 月 札幌医科大学付属病院 泌尿器科  
平成 13 年 4 月 NTT 東日本札幌病院 泌尿器科  
平成 14 年 4 月 函館五稜郭病院 泌尿器科  
平成 15 年 4 月 旭川赤十字病院 泌尿器科  
平成 16 年 4 月 市立室蘭総合病院 泌尿器科  
平成 17 年 4 月 厚生労働省 入省 (障害保健福祉部 精神保健福祉課)  
平成 18 年 4 月 健康局 総務課 生活習慣病対策室 室長補佐  
平成 20 年 4 月 労働基準局 安全衛生部 労働衛生課 中央労働衛生専門官  
平成 21 年 4 月 保険局 医療課 課長補佐  
平成 22 年 4 月 医政局 医事課 課長補佐  
平成 24 年 8 月 医政局 研究開発振興課 医療技術情報推進室長  
平成 25 年 4 月 北海道保健福祉部 医療政策局 医療薬務課 医療参事  
平成 26 年 4 月 北海道保健福祉部 地域医療推進局 地域医療課 医療参事  
現在に至る。

## 第23回 NORTH インターネット・シンポジウム 2017

### ー パネル・ディスカッション パネリスト略歴 ー



滝沢 礼子（たきざわ れいこ）

社会医療法人 高橋病院 法人情報システム室 室長

#### 【略歴】

平成4年	市立函館病院高等看護学院卒業
平成8年	高橋病院病棟主任
平成10年	札幌麻生脳神経外科病院
平成15年	高橋病院電子カルテ管理室室長を経て現職

#### 【資格】

看護師  
診療情報管理士  
医療情報技師  
介護支援専門員

## 第23回 NORTH インターネット・シンポジウム2017

### ー パネル・ディスカッション パネリスト略歴 ー



山田 基(やまだ もとい)

砂川市立病院 地域連携室 地域医療連携課長

#### 【略歴】

昭和39年3月1日生

昭和57年4月	砂川市立病院奉職 事務局管理課経理係
昭和62年7月	事務局管理課職員係
平成6年4月	事務局医事課医事第2係
平成10年4月	砂川市役所に異動 市民部高齢福祉課高齢福祉係
平成11年5月	市民部介護福祉課介護保険係
平成14年4月	市民部介護福祉課介護保険係長
平成17年4月	砂川市立病院に異動 事務局管理課企画係長
平成23年5月	事務局管理課長
平成25年4月	事務局経営企画課長
平成26年7月	地域医療連携室地域連携課長 現在に至る

## 第23回 NORTH インターネット・シンポジウム 2017

ー パネル・ディスカッション パネリスト略歴 ー



栗原 智之(くりはら ともゆき)  
加須市医療診断センター 放射線科技師長

### 【略歴】

平成 7 年 4 月  
平成 16 年 1 月

埼玉医科大学付属病院 中央放射線部  
加須市医療診断センター  
放射線撮影業務&システム管理 (RIS、PACS、NW)  
かかりつけ医と連携し、地域医療情報連携に参画  
「とねっと」開発・構築事業に参画  
「とねっと」本稼働

平成 22 年 1 月  
平成 24 年 4 月

### 【資格等】

診療放射線技師  
医療情報技師  
医療福祉情報連携コーディネーター  
「とねっと」システムワーキングリーダー

## 第 23 回 NORTH インターネット・シンポジウム 2017

国際電気通信連合(ITU)受賞記念特別講演 一講師略歴一



大石 憲且 (おおいし のりかつ)

株式会社ネクステック 代表取締役 社長

### [略歴]

1991 年 北海道大学農学部卒業  
1997 年 株式会社ネクステック代表取締役社長  
2010 年 札幌商工会議所 情報部会 常任委員  
2013 年 一般社団法人北海道 IT 推進協会 理事  
2013 年 情報処理学会北海道支部 支部役員  
2016 年 D4Cloud コンソーシアム 幹事

### [研究]

1998 年 医療情報ネットワーク相互接続(MDX)研究会 参加  
2000 年 JGN 一般研究 地域間相互接続実証実験 超高速ネットワークによる画像通信の高度応用の研究 (北海道大学共同)  
2000 年 コンテンツ判定(格付け)サーバーとその統合管理システムの研究開発  
2001 年 次世代 IX 研究会 参加  
2002 年 北海道広域高速学術ネットワーク検討会 参加  
2003 年 北海道広域高速学術ネットワーク実証実験 赤れんがギガネットを活用したブロードバンド基盤実証実験  
2005～2007 年 戦略的情報通信研究開発推進制度 (SCOPE) 地域情報通信技術振興型研究開発に係る研究開発課題「地域及び医療ネットワークの問題解決型技術開発」に従事  
2007 年 適応的経路制御手法の実相と評価 (北海道大学共同)  
2008 年 北海道におけるインターネットの通信品質の解析と可視化手法の研究開発  
2011 年 「可搬性に配慮した太陽光発電による電源供給型無線通信装置」製品開発計画 (北海道 道産低炭素化製品開発促進事業)  
現在に至る

## 第23回 NORTH インターネット・シンポジウム 2017

### — シンポジウム会長講演 講師略歴 —



辰巳 治之 (たつみ はるゆき)  
札幌医科大学 教授/NORTH 理事・会長

- 所属： 北海道公立大学法人 札幌医科大学 大学院医学研究科 生体情報形態学  
職位： 教授/医師  
学歴： 昭和 57 年 3 月 山形大学医学部卒  
昭和 59 年 7 月 大阪大学大学院医学部  
略歴： 昭和 59 年 8 月 大阪大学医学部 助手[解剖学]  
昭和 63 年 4 月 大阪大学医学部 講師[解剖学]  
平成元年 4 月 札幌医科大学医学部 助教授[解剖学]  
平成 7 年 8 月 札幌医科大学医学部 教授[解剖学]  
平成 11 年 4 月 札幌医科大学 附属情報センター所長(兼任)  
札幌医科大学 評議員 (～平成 14 年 3 月 31 日)  
平成 18 年 4 月 札幌医科大学 学長補佐、標本館長  
(～平成 22 年 3 月 31 日)  
平成 27 年 4 月 National Institutes of Health, National Library of Medicine/  
～平成 28 年 2 月 Communications Engineering Branch  
現在に至る。  
学位： 医学博士(昭和 62 年:大阪大学)  
専門分野： 解剖学, 情報科学, 医療情報学  
所属学会等： 一般社団法人 日本解剖学会 評議員  
公益社団法人 日本顕微鏡学会 北海道支部役員  
一般社団法人 日本医療情報学会  
独立行政法人 日本学術振興会 産学協力研究会  
インターネット技術第 163 委員会 運営委員  
社会的貢献： 札幌医科大学白菊会 世話人(平成元年～)  
特定非営利活動法人 北海道地域ネットワーク協議会 理事・会長(平成 5 年～)  
医療情報ネットワーク相互接続研究会[MDX](平成 9 年～)  
特定非営利活動法人 医療福祉クラウド協会[MeWCA] 副理事長  
特定非営利活動法人 日本インターネット医療協議会 理事長(平成 10 年～)  
特定非営利活動法人 札幌シニアネット・小樽しりべしシニアネット 顧問  
特定非営利活動法人 楽市楽画 理事  
特定非営利活動法人 地域医療情報連携推進機構(RHII) 理事(平成 24 年～)  
地域医療福祉情報連携協議会(RHW) 幹事  
一般社団法人 日本ネットワーク情報センター(JPNIC) 理事(平成 24～27 年)  
(非営利・地域担当)  
受賞等： 平成 11 年 北海道知事賞  
平成 11 年 北海道医師会賞受賞,  
平成 15 年 北海道総合通信局長表彰

◆法人概要

設立：	団体設立：	平成 5(1993)年 6 月 18 日
	法人認可：	平成 15(2003)年 1 月 30 日
目的：	この法人は、北海道に於けるネットワークの快適化や、急速な情報通信技術(ICT)化に対応した市民支援と啓発、本道における情報リテラシーの向上等を企図し、シンポジウムやフォーラム・セミナーの開催、技術研修の実施、産学官の研究・交流推進、人材育成等、情報通信基盤の確立による道民の啓発・理解の深化を目指し、豊かな生活の向上に貢献する事を目的として創立されました。	
会員数：	団体会員：	16 団体・企業
	個人会員：	15 名
役員等：	理事・会長	辰巳 治之 [札幌医科大学 大学院医学部医学科 教授]
	理事・副会長	浅野 行藏 [北海道大学 大学院農学研究科 特任教授]
	理事・副会長	魚住 超 [元室蘭工業大学 准教授]
	理事・副会長	田畑 善基 [東日本電信電話株式会社 北海道法人営業部長]
	他、理事 4 名、監事 2 名	
事務局：	〒060-0807	札幌市北区北 7 条西 2-6 37 山京ビル 306
	e-Mail: info@north.ad.jp / shimmi@sapmed.ac.jp	

◆シンポジウム：開催経過

特定非営利活動法人 北海道地域ネットワーク協議会【NORTH】は、道内各大学間をインターネットを介し接続する研究をもとに誕生しました。インターネット・シンポジウムは、研究・実証実験の途上、平成 7 年 2 月北海道大学学術交流会館に於いて情報交換を兼ねた研究会開催を嚆矢としています。

その後、社会的インフラとしてのインターネット環境構築を提唱し、学術分野系・大学間連携にとどまらず企業・団体などへの働き掛けが功を奏した結果、加入会員も企業・団体、更には一般個人に拡大しています。

これに伴って、本シンポジウムにおいても取り上げられる課題が、通信接続技術に限らず、応用技術やアプリケーション分野、地域社会に於ける多種多様な領域に拡大・網羅されると共に、道内外の企業による発表も増加の一途を辿っています。

近年 IoT(もののインターネット)や AI(人工知能)に代表されるとおり、情報環境は、大きく変遷し進展し、また情報機器の軽量化・高機能化、通信技術(ICT)の発達に伴い、インターネットはもはや社会基盤として定着しております。

これら諸事象は、本会の創立当初において描いていた将来像を大きく上回って増殖・拡大を続けており、本会はこれまでの活動主軸であるインターネットの普及促進を一步進め転じ、地域社会各分野における利活用・応用展開、情報通信リテラシーの向上、技術者養成を含む ICT 人材の育成や多様な分野での共同研究等に力点を移して参りました。

本シンポジウムは、以上を念頭に広域医療ネットワーク実証事業、周産期医療支援等をはじめとする各種プロジェクトの報告や新たな課題への提言等を加えるに至っています。

特に 2010 年以降、北海道大学情報基盤センターとの共同研究の一環としても位置付けられており、活発な研究交流が行われています。

本会は、情報通信技術(ICT)と社会応用・設計の両面をサポートし、医療・福祉・介護など地域の様々な課題を解決すべく、『地域の架け橋』『Liason』となり得る潜在的機能を有する、唯一の非営利法人ということが出来ます。

◆開催趣意：NORTH の目指すこと。

- 1) 情報通信技術(ICT)の普及促進及び地域啓発。
- 2) 各種地域サービスにおける ICT の応用並びに提言。
- 3) 本道に於ける情報通信基盤整備促進。
- 4) 技術者養成を含む人材の育成。
- 5) 産学官間の研究、及び交流、情報共有。
- 6) インターネット活用事例の紹介・発表。
- 7) ICT リテラシーの向上に係る提言。



特定非営利活動法人  
**北海道地域ネットワーク協議会**  
Network Organization for Research and Technology in Hokkaido